

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2011 No.22

inaokigakuen news letter



特集1

80周年特別企画①

稲置学園80周年スタート宣言

特集2

学園各校の「募集活動」

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryō ～星稜の友～

『親業』支援コラム「オトナのミカタ」

金沢星稜大学総合研究所だより

星稜 Information

幼大連携、進行中!
人間科学部こども学科の学生たちが
幼稚園でのイベントを企画・実行!

特集1

80周年スタート宣言

稲置学園創立80周年は、
「星稜人間教育100年」にむけた
スタートでもあります。

稲置慎也 創立80周年記念事業実行委員長



80周年は、
100年へと踏み出す
最初の一步です

学校法人稲置学園は、平成24年10月5日に創立80周年を迎えます。昭和7年、稲置繁男初代理事長による北陸明正珠算簿記専修学校の創設以来、建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を教育の中心に据えて、星稜の「人間教育」を実践してきました。初代理事長の理念は現在も脈々と受け継がれ、各設置校の学生・生徒・園児のみなさんへの教育に活かされています。稲置学園のこの「人間教育」への思いは、これまでもこれからも変わることはいでしょう。

その上で、来る80周年は過去を振り返るのみならず、未来へのスタート地点でなくてはならないと考えています。100周年を迎えるその日に「星稜」がどのような学園であるべきか、その理想の実現のために今から何をすべきかを考える必要があります。80周年は学園にとって「100周年への基盤づくり」の節目でもあるのです。

学校教育を取り巻く環境は今後も厳しさを増していくと考えられおり、いづれ学校法人の数は現在の半数近くに淘汰されるだろうという声も聞かれます。そのような社会情勢の中でも星稜の「人間教育」が輝きを失わないためには、私たち稲置学園は今後さらなる進化を目指していかなければなりません。

それを踏まえ、学園創立80周年の式典では「星稜100年ビジョン」の宣言を行う予定です。これは、学園の300

名余の教職員に向けて我々が目指すべき理想像を掲げ、心をひとつとして未来への道を歩んでいくためのビジョンです。この80周年を、星稜のもとで学ぶ学生・生徒・園児たちのために、私たちが自身が学園の使命をあらためて確認する機会にしたいと考えています。

80周年の節目には 「未来への糧」となる 記念事業を実施します

学園が80周年に行う記念事業もまた、未来を見据えたものとなっています。大きく5つの記念行事を実施・開催して80周年を祝うと同時に、「教育の質の向上」「地域への貢献」「学園の一体化」という学園の今後のテーマに対する糧としていきます。

まず、『80周年記念史』を編纂します。記念史では、稲置繁男初代理事長時代の60年および稲置美弥子理事長が就任してからの20年を中心に現在までの学園の軌跡を振り返り、さらに学園が目指す将来についてもページを設けてお伝えしたいと考えています。

また、学園の長い歴史の中でも初めての『寄附金募集』を行います。主に経済的困窮などにより就学が困難となった者への支援、また世界・全国レベルで活躍する部活動の支援を目的に、各校の保護者の皆様、同窓生の皆様、また役員・教職員、有志の皆様から広くご寄附を募ることとなりました。学校法人の使命は人材の育成であり、そのための教育環境・制度を充実させていくこと

が学園の今後には不可欠です。皆様のお子様や後輩、今後星稜で学ぶ未来の担い手たちのために、ご支援とご協力をお願いいたします。

記念事業の3つめは、『記念行事の開催』です。創立記念日の平成24年10月5日に稲置記念館において学園関係者および来賓をお招きして記念式典を開催し、学外の会場にて記念祝賀会の開催も予定しています。また、学園内外の関係者に対して、記念館見学会の実施を計画しています。

その『記念館建設』が記念事業の4つめです。金沢星稜大学キャンパス内では「キャリアデザイン館」「メディアライブラリー」の建設が平成23年3月から始まっており、来年8月に竣工の予定です。建設にあたっての基本方針は、多様な教育内容や時代の変化に対応できる施設、「ゆとり」のある設備を整備することとし、図書館および情報関係の環境整備、学習室・談話室など学生のためのスペースの確保を図ります。同時に地域との連携、地域貢献の観点からメディアライブラリー内の図書館を近隣住民の方々に開放する予定です。また、星稜女子短期大学がキャリアデザイン館内に移転し、平成24年4月から「金沢星稜大学女子短期大学部」と名称を変更します。これにより、大学短大を合わせて2400名余の学生たちが学ぶこととなり、キャンパスはより活気に満ちたものになることでしょう。

5つめは『記念イベントの企画・開催』です。学園に集う学生・生徒・園児、また卒業生や保護者の皆様が一体となることのでき、同時に我々教職員の連帯感を



キャリアデザイン館



メディアライブラリー



高めることができる事業の企画を学園内外から募集した結果、「星稜音楽祭（オペラ）」・「SEIRYO SPORTS DAY」・「星稜教育シンポジウム」の開催が決定しました。音楽・スポーツ・教育の各分野での、幼稚園から大学までが一堂に会するイベントが80周年を彩ります。またこのイベントの実施運営が、学園の未来を語る上で欠かすことのできない「学園の一体化」の面でも大きな効果をもたらすだろうと期待しています。

学園創立80周年の スローガンに込めた 「人間教育」への決意

これら80周年に向けた、そしてその後の100周年を見据えた取り組みが、現在着々と進行しています。私たちが稲置学園にとって、この80周年は学園創立の原点に立ち返り、建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」をいかに将来につなげていくのか、これからの時代にあった「星稜の人間教育」を実現していくのかを考える重要な機会となります。

この度80周年にあたっての学園の決意を込めて「未来を輝らす 星稜の人間教育」というスローガンとシンボルマーク（上記）を策定しました。この言葉の通り、今後も未来を明るく輝かせる人間教育を誇る学園でありたい。それが稲置学園80年目の誓いです。保護者の皆様におかれましても、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。



「学生募集」の場も、「人間教育」の機会に。

特集2

オープンキャンパスを 学生スタッフが企画・運営



星稜女子短期大学オープンキャンパス

金沢星稜大学では、学生による「オープンキャンパス活性化プロジェクト」が展開中

金沢星稜大学に関心を持つ受験生の方々が、オープンキャンパスを訪れて大学を知るオープンキャンパス。その企画・運営の中心となっているのが、学生有志で構成される「オープンキャンパス活性化プロジェクト」です。メンバーである釜井亮さん（経済学部4年次）と白勢佳那さん（経済学部1年次）のお二人にお話をうかがいます。

「金沢星稜大学のオープンキャンパスは、学部や学年を問わず集まった学生スタッフが主体となって企画・運営を行っています。参加高校生の応対はもちろん、オープンキャンパスの案内役や模擬授業の司会、イベント企画など、オープンキャンパス運営の中枢を担っているんです。高校生の皆さんに『星稜大に入りた』と思ってもらえるように、毎回みんなががんばっています」（釜井さん）

「私は昨年、受験生として星稜大のオープンキャンパスに参加しました。先輩たちが気さくに接してくれて、ここなら充実した大学生活を送れそうだなと思いましたね。他の大学にも行きましたが、実際のキャンパスライフについて詳しく話を聞けて、先輩たちが本当に楽しく過ごしているのを感じられたのは星稜大だけでした。入学してこのプロジェクトに加わった



金沢星稜大学・オープンキャンパス活性化プロジェクトメンバー、釜井亮さん（左）と白勢佳那さん（右）

のも、その経験があったからです」（白勢さん）

「来てくれた高校生には、大学の紹介だけではなく自分自身の大学生活を話すことにしています。星稜大に入学してよかったという僕自身の気持ちを高校生の皆さんに伝えられたら嬉しいです」（釜井さん）

星稜女子短期大学でも学生スタッフ「MKP」がオープンキャンパスを運営

星稜女子短期大学のオープンキャンパスでも、学生スタッフたちが活躍しています。学内のさまざまなイベントに携わる学生グループ「MKP（モテカワプロジェクト）」のメンバー、嶋野晴奈さん



星稜女子短期大学・MKPメンバー、林亜里咲さん（左）と嶋野晴奈さん（右）

と林亜里咲さん（ともに2年次）はオープンキャンパスについてこう話します。

「オープンキャンパスでは事前の企画や会場設営から担当しています。看板やポスターを制作したり、高校生へプレゼントするクッキーを手作りしたりと、準備段階もやるのが多くて大変ですが、楽しみながらやっています」（嶋野さん）

「当日は、高校生の応対やコース紹介のプレゼンテーションも私たちが担当します。また、オープンキャンパスは何回もあるので改善を重ねていくことも必要です。女子なのでランチはもっと軽いほうがいいとか、毎回メンバーで議論して決めています」（林さん）

「オープンキャンパス終了後、高校生にアンケートの記入をお願いし

ているんですが、『楽しかったです』とか『星短に入りたい』と書いてくれる方もたくさんいて、それがすごく嬉しいですよ」（嶋野さん）

「県外出身の私が星短への進学を決めたのも、参加したオープンキャンパスで魅力的な先輩が応対してくれたからでした。今は逆の立場になって、高校生が入学してくれるきっかけに私たちがなれたらと思っています」（林さん）

金沢星稜大学・星稜女子短期大学の素顔を伝えるオープンキャンパスは、このような学生スタッフの活躍によって支えられています。

オープンキャンパスは、学生たちにとって

社会人としての成長の機会

学生が主体的に関わることで、できるオープンキャンパス。金沢星稜大学・星稜女子短期大学の両校がその環境を整えたのは、高校生に大学の魅力を強くアピールすることだけが目的ではありません。むしろ、より重要な目的はそこに関わる学生たちの「社会人としての成長」にあると言えます。

「メンバーと協力してオープンキャンパスを実行したり、初対面の高校生とのコミュニケーションを図ったりという経験がとても勉強になっています。自分がどうしたいかではなく、何をすれば相手に喜んでもらえるのかを考える視点をこの活動から学びました」（白勢さん）

「積極的な姿勢やコミュニケーション力など、この活動から学んだ多くのことは社会に出てから役立てられるものだと思います。来年には社会人になります、ここでの経験を活かしていきたいですね」（釜井さん）

金沢星稜大学のお二人と同様に、星稜女子短期大学MKPのお二人もこう語ります。

「私自身成長できたと思う点は、新しいことにも積極的に踏み出せるようになったことです。初めてMKPに参加する時もすごく迷ったんですが、もしあの時に参加していなかったら私の短大生活はつまらないものだったかもしれません。とりあえず行動する姿勢の大切さを学びました」（嶋野さん）

「オープンキャンパスの参加者は多い時で50名近くになります。大勢の人の前で話し、伝えたいことをちゃんと伝えるのは難しいですが、改善しながら何度も司会やプレゼンをしたことで、ずいぶん上達できたと思います。春から営業職として働くことが決まっている私にとって、とてもいい勉強になりました」（林さん）

授業だけでは学べないことを、その他の活動でしっかりと身につけていってほしい。星稜の「人間教育」は、オープンキャンパスという学生募集の場でも、こうしてしっかりと実践されています。

オープンキャンパス担当職員より

この経験を活かして
社会人として大きく成長してほしい。



金沢星稜大学
入学・広報センター
山川 洋平

本学のオープンキャンパスが学生中心で行われているのは、これを学生たちの成長の機会に

したいと考えているからです。実際に、年齢も性別もバラバラの学生たちが目的達成のために真剣に議論している姿や、回を追うごとに充実していく表情がこの取り組みの意味を物語っています。オープンキャンパスに限らず、大学でのさまざまな経験は社会に出る上で大切な勉強です。学生たちにはチャンスを活かして大きく成長して欲しいと思っています。



星稜女子短期大学
教学課
廿日岩 暁子

星稜女子短期大学で学ぶ学生たちには、職業人としても女性たち自身も、彼女

にプラスになる経験や勉強をたくさんしてほしいと思います。MKPのメンバーたちはオープンキャンパスをはじめとするいろいろな活動を通して、自分で考えて積極的に行動し、また自分の意見をしっかりと伝えられるようになるなど、入学時と比べて見違えるほどの成長を見せてくれました。社会人になるまでいよいよあと少し。これから先の彼女たちの活躍に期待しています。

学園各校・各園の募集活動のよう

稲置学園各校では、入園・入学希望の方を対象とした見学会を開催しています。

星稜高等学校、星稜中学校でも生徒が募集活動に参加しています。また、金沢星稜大学附属星稜幼稚園・泉野幼稚園の募集活動には金沢星稜大学の学生が協力しています。

星稜中学校



星稜高等学校



金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園



金沢星稜大学附属星稜幼稚園



幼稚園の「先生」として、 子育ての「先輩」として。

金沢星稜大学附属 星稜幼稚園

山口加苗 先生



**一日たりとも同じ日はない。
毎日が勉強の繰り返しです。**

星稜幼稚園の教員となって12年目、それ以前も別の保育園で保育士をしていました。ずいぶん長い間幼児教育の現場で働いてきたことになりましたが、それでも過去の経験をそのまま当てはめられるような「同じ日」は、これまで一日だってありません。毎年、毎月、毎日が新しいことの連続で、たとえ経験が豊富であっても、その上に日々の勉強を積み重ねていかなければいけない。それがこの仕事の奥深さであり、楽しいところだと思っています。

こどもたちと向きあう毎日の中で私



失敗してもいいから自分でやるのが大切だと学んでほしい

が常に意識していることは、「明日も幼稚園に行きたい」と思ってもらうことです。園では毎日いろいろなことが起きますが、次の日も行きたいと思ってもらえるように、ひとりひとりの個性に合わせて接することを心がけています。毎朝通勤の車中では「今日はこう言ってみよう」とか「こう接してみよう」とか、そんなことを考えながら園に向かいます。ペテランと呼ばれるてもおかしくない年代ですが、それでもやはり毎日が勉強。その日のしつかりと目標を持って、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

**こどもたちと向きあうように、
保護者の方々とも向きあいたい。**

今、年少組の担任をしています。入園したばかりの4月から数ヶ月、こどもたちも新しい環境に慣れて落ち着きが見えてきました。保護者の方々はいかがでしょうか。保護者の方の中には、今回のお子様の入園が自分のもとからこどもを離す初めての経験という方もいらっしゃると思います。それまで24時間ずっと一緒に過ごし、すべてを把握してきたお子様から目を離すことに不安を抱いている方や、日中に家でずっと心配をされている方がいらっしゃるかもしれません。そんな方は、どうかひとりで溜め込まずに私たち教員に話をしてみてください。「こんなことを言ったらおかしいかな、恥ずかしいな」などと思わずに、心配ごととは相談して、小さいうちに解決

してほしいと思います。

私自身も3人の子育てを経験してきました。保護者の方々とは接して、「こどもが幼いころは自分もこうだったな」と思うことがあります。こどもたちにとって「先生」なのはもちろんですが、保護者のみなさんにとっては子育ての悩みに対して「先輩」として的確にアドバイスできる、そんな度量のある教育者でありたいと思っています。

この幼稚園で長く教員をしてきたので、かつて担当した子が大きくなって会いに来てくれること、卒園児の保護者の方が「先生！」と声をかけてくださることがあります。この仕事を続けてきてよかったといちばん思うのは、やはりそういう時なんです。



★就活クルーズ研修「ほし★たび2011」 超旅！海を越え、ジブンを越える力をつける！



昨年度初の試みであった「ほし★たび」が学内外より大好評であったことを受け、今年度も9月1日（木）～3日（土）に実施。参加者の1～3年次は昨年度より8名多い41名、既に内定している4年次は昨年同様12名乗船しました。今年度は台風12号の影響で船が欠航となり、急ぎよ船便やスケジュールを変更しながらも、目標としていた「人前で堂々

と話せるようになる」ための3日間のカリキュラムを全員が最後まで全うしました。参加した学生がたつた3日間である成長していく姿から、今後の大学生活や就職活動にも大いに役立つ旅になったと確信しています。今後も更なる支援を続けます！

★「ワークショップ・キャラバン隊」による学校支援ボランティア活動

6月から7月にかけて、人間科学部こども学科の有志で結成する「ワークショップ・キャラバン隊」が金沢市内の小中学校を訪問し、ワークショップ型の授業を実施しました。小学校の先生方と協

力し、アドバイスをいただきながら理科や社会の授業を行いました。

教員を目指すメンバーで、児童との関わりを実践的に学ぶと共に、授業構成力を身に付けることを目標としています。

代表：開藤卓也
(人間科学部4年次)



★内灘町海賊船公園を利用した地域貢献・活性化活動

7月17日（日）、内灘町に住むこどもたちを対象に内灘町総合公園（通称：内灘町海賊船公園）を利用し、「宝探し」「水鉄砲」などを実施しました。これは、内灘町総合公園をもっと多くの人に活用してもらいたいとの願いを込め

て人間科学部こども学科の学生が企画したものです。当日は晴天にも恵まれ、多くの親子連れが訪れ、学生たちと一緒に園内を走り回りました。



イベントを企画、運営するにあたって必要となる、「コミュニケーション能力、協調性、積極性、先を見通し考える力など」は、参加するメンバーが目標とする教員という職業において、とても必要となる力だと思えます。今回の活動を通して、教員になるために必要な資質を養うことを目標としました。

代表：菊人翔
(人間科学部4年次)

★全国大会出場！

□ソフトテニス部

第31回全日本ソフトテニス王座決定戦

第65回文部科学大臣杯

全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会

第66回三豆島杯吉本学生ソフトテニス選手権大会

丸谷幸代（人間科学部3年次）

松田理奈（経済学部2年次）

松本菜月（人間科学部2年次）

石森由真（人間科学部1年次）

免田彩弥加（人間科学部1年次）

□陸上競技部

第95回日本陸上競技選手権大会

村中穂高（経済学部4年次）

西本夏樹（人間科学部3年次）

2011日本学生陸上競技個人選手権大会

宮幸太郎（人間科学部4年次）

山口文武（人間科学部4年次）

西本夏樹（人間科学部3年次）

高橋卓磨（人間科学部3年次）

手塚翔太（人間科学部1年次）

林あゆみ（経済学部4年次）

堀千奈実（人間科学部4年次）

室峰歩（人間科学部3年次）

相山奈央（人間科学部2年次）

宮口智子（経済学部1年次）

高橋卓磨さんが二段跳で15m54を跳び、3位入賞を果たしました。また、やり投で出場した山口文武さんが67m77の記録で6位に入賞しました。

□剣道部

第45回全日本女子学生剣道選手権大会

第5回全日本女子学生剣道東西対抗試合

宮下麻菜（人間科学部4年次）

長塚美可子（人間科学部2年次）

□空手道部

第55回全日本学生空手道選手権大会東西対抗戦

辰巳明日香（経済学部3年次）

張田一輝（経済学部3年次）

山森祥史（経済学部1年次）

□硬式テニス部

平成23年度吉本学生テニス選手権大会 女子第55回

塩本 瑞貴（人間科学部4年次）

中川 朝貴（人間科学部3年次）

短 北陸三県私立短期大学 体育大会開催

6月25日(土)・26日(日)、第44回北陸三県私立短期大学体育大会が開催されました。今年度は本学が主管校にあたり、学友会をはじめ多くの学生が大会全体のホスト役として大会運営にも携わり、審判や会場設営、その他さまざまな業務を行いました。金沢星稜大学の学生・教職員の協力もあり、大会は無事終了し、星短生もソフトテニスの優勝をはじめ、各競技で好成績を残すことができました。



短 自分たちの言葉で 星短の魅力を伝えたい！ オープンキャンパス開催

星短オープンキャンパスが7月23日(土)から始まりました。学生スタッフ「MKP」が高校生へ星短の魅力を自分たちの言葉で伝えようと、学生の手で星短紹介ビデオを撮影し、オリジナルオープンゲームービーを制作しました。8月のオープンキャンパスも盛況で、友人の付き添いで来た高校生から「就職希望だっ

たけれど、オープンキャンパスに来て星短へ進学したい気持ちになった」という感想も聞かれました。



短 近江町市場で 学生シヨップオープン！ おいしい能登の特産品をお届け



8月27日(土)から9月4日(日)の期間限定で、金沢近江町市場に学生シヨップを開店しました。これは能登の特産品

の販売拡大調査を目的として短大の安藤信雄准教授の企画で金沢星稜大学・大教ゼミ、川島ゼミとの共同研究の取り組みです。特産品を販売する「まるしえNoto」と能登の風情も感じてもらおう飲食店「Noto Raku」の2つのコーナーで構成しました。

短 「ユニオンドリーム チャレンジカップ2011」 を運営サポート



榎本雅之助教が担当する講義「ゼミナー・コミュニティ」とゼミ受講生22名が、8月15日(月)から18日(木)の日程で七尾市において開催された「ユニオンドリームチャレンジカップ」に運営委員として参加しました。金沢星稜大学、金沢大学、北陸大学の学生を中心に企画・運営さ

れる日本トップレベルの大学サッカー大会で、本学の学生たちは、本部受付、試合の記録や写真撮影、水の提供、司会進行などの大会運営のサポートを行いました。全国から集まる選手やスタッフからも刺激を受け、地域におけるスポーツ大会の企画・運営を学びました。

短 スキューバダイビングの インターンシップ

8月18日(木)から2週間の日程で、スポーツマネジメントコースの1年次3名が、能登島にある能登島ダイビングリゾートにおいてインターンシップを行いました。お客様への応対、器具の準備や点検といったスクールの補助などの業務のほか、2週間能登島に住み込んで働くことで普段できない経験ができました。学生たちにとっては、スキューバダイビングの知識や技術だけでなく、スポーツを仕事とすることについて学ぶよい機会となりました。



★ 高 文化講演会

6月3日(金)、1〜3年Aコース生徒を対象に、法政大学教授で泉鏡花文学賞受賞作家の島田雅彦氏を講師にお招きし、「未来について考えてみよう」と題して文化講演会が行われました。この文化講演会は、ツ橋文芸教育振興会主催で文部科学省などが後援となり、高校生の関心が強い題材をテーマにより充実した青春時代を過ごすため、また、より豊かな人間性を養うための指針となるよう企画されました。

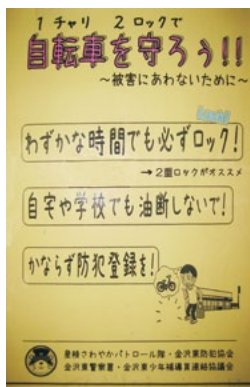
島田さんは「心が柔軟な思春期に好奇心を高め、なるべく多くの作品、知識や教養に触れておくことが大切」と説かれました。生徒たちは、難しい演題ながらも自分の場合に置き換えて、感想文を書きました。

また、同振興会より集英社文庫100冊が寄贈されました。



★ 自転車盗難防止呼びかけ

7月11日(月)、生徒たちによるボランティア『星稜さわやかパトロール隊』が、JR東金沢駅の駐輪場内で、「ワンチャリ、ツーロック。鍵をかけましょう」と自転車盗難防止や二重ロックを呼び掛ける音声ガイドの録音を行いました。また、ボスターを貼り、自転車利用者に対する盗難防止の意識向上を求めました。



★ 全国大会出場！ 快拳達成！

7月22日(金)終業式の日、全国高等学校総合体育大会・総合文化祭等の出場者激励会が行われました。干場久男校長や同窓会より激励の言葉を受け「少しでもよい結果が残せるよう頑張ります」と決意を新たにしました。



なお、女子剣道部が団体で準々決勝まで進み、石川県勢としては20年ぶりにベスト8に入りました。選手は鍋谷実夢さん(2年)、山本美珠稀さん(3年)、生瀬早希さん(2年)、森田結衣さん

(3年)、澤田有さん(3年)です。

また、トランポリン部の角田瑞希さん(2年)は個人で優勝し、女子最高演技点賞を受賞しました。シンクロナイズド競技では、男女とも優勝しました。男子は石井純さん(3年)と白坂健志さん(2年)、女子は角田瑞希さんと村上碧さん(1年)です。なお、全国大会に出場したクラブは次のとおりです。

- 男子陸上競技部
- 女子陸上競技部
- 男子ソフトボール部
- 男女トランポリン部
- 女子剣道部
- 男子テニス部
- 女子テニス部
- 男子少林寺拳法部
- 合唱部
- 小倉百人一首かるた部
- 女子囲碁部
- 天文部

★ 天文部ラジオ出演



8月8日(月)、天文部4名が、8月10日(水)に金沢市立玉川こども図書館で行われた『第2回高校生による青

少年のための科学の祭典金沢大会』のPRのために、FM石川のラジオに出演しました。出演したのは濱松恭香さん(3年)、高木人佳さん(2年)、酒井秋絵さん(2年)、村上昂之さん(2年)です。8月3日(水)から福島で開催された全国高等学校総合文化祭で研究発表した話や、8月10日(水)の科学の祭典の催しについてPRしました。緊張した20分間の収録でした。

★ 1年関東方面大学見学会 2年関西方面大学見学会



8月6日(土)・7日(日)、1年生13名が関東方面大学見学会に、8月8日(月)・9日(火)、2年生83名が関西方面大学見学会に行きました。

1年生が見学した大学は、横浜国立大学、東京大学、早稲田大学の三大学で、横浜国立大学と早稲田大学はオープンキャンパスに参加しました。2年生が見学した大学は京都大学、大阪大学、神戸大学の難関国立三大学で、星稜OBから経験談等を伺うことができました。

自分の志す大学の雰囲気と環境を実際に目の当たりにし、将来の夢の実現に向けて意識向上した見学会となりました。



★ 海外語学研修



7月28日(木)・8月11日(木)、2年生23名がオーストラリアへ海外語学研修に行きました。ホストファミリーの家にホームステイしながら、ゴールドコーストの現地語学学校で英語を学びました。生の英語の授業を受けた後は、オーストラリアの自然と戯れたり、コアラに触れたりしました。ホストファミリーの温かいおもてなしに感激し、海外にもう一つ家族ができた貴重な語学研修でした。

★ 観能教室

7月7日(木)、3年生を対象に石川県立能楽堂で観能教室が行われました。この教室は昭和24年に始まり、今年で63年目と歴史が古く、現在まで多くの金沢市の中学校が参加しています。

生徒たちは、日頃なかなか触れる機会のない世界無形遺産に直に触れ、何百年前の日本の伝統芸術文化が現在に受け継がれていることに驚嘆し、真剣に鑑賞しました。

★ 幼稚園訪問

7月12日(火)、2年生が金沢星稜大学附属星稜幼稚園を訪問しました。技術・家庭科実習の一環として、幼児と触れ合うことが目的です。最初は緊張して小さい子どもたちに話しかけることができずでしたがすぐに打ち解け、帰り際にはお互いに手を振りあうほど仲良くなりました。



中 合唱コンクール



7月16日(土)、今年で11回目を数える合唱コンクールが稲置講堂で行われました。今年のスローガンは「Sing with our dream」歌に夢をのせて」。

課題曲「桜の葉」と自由曲一曲を選び、日頃の練習の成果を発表しました。高校合唱部によるオープニングに始まり、終わりにゲストとしてSASUKEという白山市を中心に活動する青少年メンバーによる太鼓の演奏がありました。終始和やかな雰囲気の中コンクールでした。

- ☆☆最優秀賞☆☆
2年A組 なこり雪
☆☆優秀賞☆☆
2年B組 愛明
☆☆敢闘賞☆☆
3年B組 ギフト
☆☆ハーモニー賞☆☆
3年A組 青いベンチ
☆☆ファイティング賞☆☆
1年A組 桜の木になろう
☆☆ファイティング賞☆☆
1年B組 心の花を咲かせよう

★ 全国大会で大活躍！

サッカー部が滋賀県で開催された第42回全国中学校サッカー大会で優勝し、石

川県勢初の快挙を成し遂げました。8月23日(火)に凱旋し、先生や生徒、保護者の皆様より大きな拍手と祝福を受けました。干場久男校長より「星稜中39年目に大きな足跡を残し、誇りに思う」と労いの言葉が贈られました。

また、野球部は横浜スタジアムで行われた全国大会に4年ぶり3度目の優勝をかけて出場しましたが、惜しくも初戦で敗れました。

なお、陸上競技部の村田光さん(3年)、五島莉乃さん(2年)、トランポリン部の藤原壮輝さん(3年)、松多冠奈さん(3年)も全国大会へ出場しました。



中高 6月からの主な部活動成績

星稜高等学校

平成23年度全国高等学校総合体育大会

□陸上競技

- 女子3000m
- 第7位 牧川恵利

第66回国民体育大会石川県予選会陸上競技

- 男子少年A1000m
 - ・優勝 大口健太
 - ・第2位 上松涼太郎
- 男子少年B1000m
 - ・優勝 菅野大輔
 - ・第2位 河野伶奈
- 男子少年A1000m
 - ・優勝 河野伶奈
 - ・第2位 西尾博行
- 女子少年A3000m
 - ・優勝 牧川恵利
 - ・第2位 小田翔太
- 男子少年A走幅跳
 - ・優勝 小田翔太
 - ・第2位 福永一毅
- 男子少年B走幅跳
 - ・優勝 清水奨太
 - ・第2位 津田諒馬
- 男子少年A円盤投
 - ・優勝 真沢優介
 - ・第2位 鷺尾美幸
- 男子少年B110mJH
 - ・優勝 林力也
 - ・第2位 豊野美古都
- 女子少年A走幅跳
 - ・優勝 赤坂遥夏
 - ・第2位 折戸智恵
- 女子少年B走幅跳
 - ・優勝 塚本吉彦
 - ・第2位 谷内宇成
- 男子少年共通走高跳
 - ・優勝 長谷川ひかり
 - ・第2位 長谷川ひかり

第36回全国高等学校トランポリン競技選手権北海道大会

- 団体競技 女子の部
 - ・第2位 角田瑞希、佐竹玲奈、伊牟田萌、村上碧
- 個人競技 女子の部
 - ・優勝 角田瑞希
 - ・第6位 村上碧
- 女子最高演技点賞
 - ・角田瑞希
- シンクロナイズド競技 男子の部
 - ・優勝 石井純、白坂健志
- シンクロナイズド競技 女子の部
 - ・優勝 角田瑞希、村上碧
 - ・第2位 寺西菜摘、佐竹玲奈

第93回全国高等学校野球選手権石川県大会

- 第3位
 - ・優勝 野村直子
 - ・優秀賞 新酒拓
 - ・優秀賞 西田創
 - ・優秀賞 家倉一暁
- 水泳競技
 - 男子50m自由形
 - ・第2位 山本航平
 - 男子100m背泳ぎ
 - ・第2位 井野山修平
- 平成23年度北信越高等学校体育大会
 - 陸上競技
 - 男子総合
 - ・第2位
 - 女子総合
 - ・第2位
 - 男子トラック
 - ・第2位
 - 女子トラック
 - ・第2位
 - 男子フィールド
 - ・第3位
 - 女子フィールド
 - ・第3位
 - 男子1500m
 - ・第3位 西村定喜
 - 女子1500m
 - ・優勝 牧川恵利
 - 男子走幅跳
 - ・第2位 福永一毅
 - 女子走幅跳
 - ・第2位 豊野美古都
 - 男子4×100mリレー
 - ・優勝 菅野大輔、大口健太、上松涼太郎、福永一毅
 - 水泳競技
 - 男子50m自由形
 - ・第8位 山本航平
 - 男子100m背泳ぎ
 - ・第8位 井野山修平
 - 剣道競技
 - 男子団体
 - ・第3位
 - 女子団体
 - ・第2位
 - 女子個人
 - ・優勝 森田結衣

第54回金沢市民体育大会空手道競技

- 高校生男子組手
 - ・優勝 本圭佑
- 高校生男子組手
 - ・第2位 谷口隼南
- 高校生女子組手
 - ・第2位 坪内あかり

第35回全国高等学校総合文化祭

- 小倉百人一首かるた部門
 - ・文化連盟賞 荒木奈々
 - ・文化連盟賞 清水航

第19回石川県高等学校音楽コンクール

- 優秀賞 野村直子
- 優秀賞 新酒拓
- 優秀賞 西田創
- 優秀賞 家倉一暁
- 星稜中学校
 - 平成23年度全国中学校体育大会
 - サッカー競技
 - ・優勝
 - 第32回北信越中学校総合競技大会
 - 陸上競技
 - 共通女子1500m
 - ・第2位 五島莉乃
 - サッカー競技
 - ・優勝
 - 石川県中学校体育大会第63回陸上競技大会
 - 男子共通1000m
 - ・優勝 村田光(大会新記録)
 - 男子共通2000m
 - ・優勝 村田光
 - 女子共通1500m
 - ・優勝 五島莉乃
 - 女子1・2年走幅跳
 - ・第2位 橋侑利
 - 第57回全日本中学校通信陸上競技大会石川県大会
 - 男子3年1000m
 - ・優勝 村田光
 - 女子共通1500m
 - ・優勝 五島莉乃
 - 男子少年B1000m
 - ・優勝 村田光
 - 第28回全日本少年軟式野球大会北信越大会
 - ・優勝



幼稚園 幼稚園
☆わくわくようちえん☆

年長組がお父さんやお母さんから離れてみんな幼稚園にお泊りしました。楽しみにしていたこの日は、遊ぶのもご飯を食べるのも眠るのもずっとお友だちや先生と一緒にとても大切な思い出になりました。

みんなで作ったレストランで楽しい食事、煙で採れたきゅうりのサラダ作りにも挑戦しました。まずは誰から切ろうか「じゃんけんぼん」。おいしいサラダができました。



☆夏の思い出☆



暑い夏は水遊びが一番！園庭では洗濯ごっこや、ビニールプールやホースのシャワーで、水の感触をたっぷり楽しみました。

室内プールの水深30cmでは、ワニさんになりたり、足を投げ出してべたんと座ったりするのが好きです。一番深い80cmでは、泳いだり、潜りっこを楽しんだりする子たちもいました。

幼稚園 幼稚園
☆盆踊り楽しかったね！☆

心配していた台風も子どもたちの願いが届いたかのように青空が広がり、無事、踊りを楽しむことが出来ました。この日はオープンハウスもあり、小さいお友だちも元気に踊っていました。ご近所のお宅にもお知らせし、見に来て下さる方もいらつしました。こどもたちは、もったいないばあさん音頭や忍たま音頭など、元気いっぱいお友だちや、お家の方と踊りました。



☆夏のアソビいっぱい!!☆

今年の夏は、暑い日が多くお天気に恵まれました。子どもたちはプールやせんたくごっこなど、思う存分にいろいろな水あそびを楽しむことが出来ました。園庭で元気に鳴く蝉にも負けないうくらい大きな声が響き渡った楽しい夏でした。



アミティエセイリョウ
「Amitié Seiryō」は、フランス語で「星稜の友情」。
毎号星稜を支えてくださる各方面の方々をご紹介します。

地域の視点から見た、 大学・短大の地域活性化活動

生き生き工房 ねねの会
海老恵子さん(写真左)
吉田孝子さん(写真右)



金沢星稜大学・星稜女子短期大学では、主にゼミ活動において、地域社会を舞台とした教育活動を積極的に展開しています。地域の方々と連携しながら地域貢献活動を行い、それを通じて、座学だけでは学ぶことが難しい「実践的な能力」「人間力」を育むことが目的です。

今回は、星稜の人間教育に関わってくださっている地域グループのひとつ、能登島の「ねねの会」のおふたりにお話をうかがいました。

「生き生き工房 ねねの会」ではどのような活動をされているのですか？

海老さん：私たち「ねねの会」は、能登島で活動する女性グループです。能登島の活性化やPRを目的に、能登島産の農作物の加工・販売や商品開発などを行っています。

吉田さん：「ねねの会」と金沢星稜大学・星稜女子短期大学との関わりも、もう6年になりますね。現在も大学・短大の学生の皆さんとさまざまな活動をご一緒にしています。

学園各校と連携した活動には、具体的にどのようなものがありますか？

海老さん：短大生の皆さんとは、能登島の食材を活かした新商品の企画から販売までを行ってきました。昨年は、能登島のテングサを使った寒天スイーツを商品化しましたね。また最近では、大学・短大の学生さんが金沢の近江町市場で能登島と特産品のPRのための学生ショップを運営してくれました(本号7ページ参照)。

吉田さん：能登島の火祭りでも運営スタッフとして学生さんたちが参加してくれ、年々人が減って、淋しくなってきたお祭りを盛り上げてくれました。その会場でも短大生の皆さんがお店を開いて、能登島の魅力をアピールしてくれました。



大学・短大との連携は地域や「ねねの会」にどのようなメリットがあるとお考えでしょうか。また学生たちへはどのような教育の効果があらわれると思いますか？

海老さん：私たちが学生の皆さんから教えてもらうことも少なくありません。特に若い感性から生まれるアイデアには感心することが多いです。これから地域が元気になるためには若い世代に向けて魅力を訴えることが重要なので、学生の皆さんが協力してくださることは大きな意味があります。

吉田さん：学生の皆さんを見ると、会うたびに成長していくのを感じます。何度も能登島に来て活動するのは大変ですが、地域の現場で学ぶことは貴重な経験のほうです。せっかくなので機会を大切にしてほしいと思います。

海老さん：能登島がもっと元気になるために、これからも若い人たちと一緒にがんばっていきましょう。大学も短大も、ぜひこのような活動を続けてほしいですね。



ナタの力

携帯電話の付き合い方

親子で話し合いの場から始める



『かなざわ親塾』講師

村井万寿夫（金沢星稜大学 人間科学部教授）

I 携帯電話について保護者みんなで考える

金沢市教育委員会生涯学習課では、金沢市内の小中学校の児童生徒の保護者を対象に、情報モラル出前講座『かなざわ親塾』を開催しています。私はその講師として小学校や中学校を訪問し、携帯電話やインターネットについてのお話をしています。また、金沢市以外の市や町の小中学校にも訪問して、『非行・被害防止講座』の一環として同様の話をしています。

石川県においては小中学生に携帯電話を持たせない条例が平成二十二年一月に施行されました。これによって、保護者においてはひとまず安心といった気持ちになるかもしれません。しかし、いろいろな事情から既に携帯電話を持っている児童生徒がいること、または、これから持ちたいと思っている児童生徒がいることを考え併せ、子どもと携帯電話について保護者みんなが大事だと考えています。

II 携帯電話の光と影

携帯電話はご存知のように電話機能に加え、メール機能、インターネット機能、カメラ機能などを備えているため、子どもたちにはとても魅力的なものとなっています。また、通信機能によってコミュニケーションの形を変えたと言われています。そこで、親子のコミュニケーションのメリット（光）とデメリット（影）についていくつか紹介します。

メリット（光）

- ・小さくてもどこへでも持って行ける。
- ・通話やメールでいつでも連絡がとれる。
- ・今どこにいるか居場所が確認できる。
- ・家族や友だちとのコミュニケーションがとりやすい。

この4つをまとめて言えば、「安心」といった言葉が当てはまるでしょう。

デメリット（影）

- ・ケータイに夢中になる。
- ・使用料金の無駄遣い。
- ・子どもの交友関係がわからなくなる。
- ・犯罪に巻き込まれる可能性が高くなる。

この4つをまとめて言えば、「心配」といった言葉が当てはまり、「安心」に比べ、とても気になることと言えます。

III 携帯電話は自転車と同じ

私が保護者にお話するとき、携帯電話は自転車と同じであるという例えをします。小学生になると子どもは自分の自転車を持ちたがります。自転車に乗って自分の行動半径を広げたいからです。金沢市では3年生になったら神田交通公園に行つて、自転車の乗り方を勉強します。この勉強を終えたら、例えば、一人で遊びに行つたり、夏休み中に学校のプールに自転車で行つたりすることもできるようになります。

携帯電話もどこかの段階で勉強が必要があると言えます。その勉強は親子で携帯電話について話し合つたということが

基本になると思います。実際に携帯電話を欲しがる前でもよいし、欲しいと言いだしたときでもよいです。また、既に持っている場合でもよいです。自転車も携帯電話もやがては子ども一人で乗ったり使ったりするようにになります。つまり、保護者の目の届かない所で使うようになるので、親子で話し合い、ルールを作っておくことが大事です。

IV 携帯電話をいつ頃持たたいか

私は平成22年の1月から2月にかけて県内の小中学生約千名を対象に携帯電話についてのアンケートを実施しました。その結果、「携帯電話をいつ頃から持たたいか」については、次のようなことが言えます。

- ・小学5年生、6年生は、中学1年になったら持たたいと考えている児童が約3割、高校1年になったら持たたいと考えている児童が約5割いる。
- ・中学1年生、2年生は、高校1年になったら持たたいと考えている生徒が約8割いる。
- ・中学3年生は、高校1年になったら持たたいと考えている生徒が約9割いる。

右のことから、小学校高学年の頃から携帯電話について親子で話し合いを始め、中学生になったら本格的に話し合つたことが重要と言つてことができます。

V 親子で話し合つて決めたいルール

自転車の例え話をした後、親子で話し合つて決めたらよいと思うことを7つ紹介するようにしています。

- ① 利用する目的を親子で決める。
- ② 利用料金、利用時間、利用場所を親子で決める。
- ③ フィルタリングサービスをつける（はずさない）。
- ④ メールを送るときには読み返してから送る。
- ⑤ 危ない、変だなと思ったサイトには接続しない。
- ⑥ 自分や家族の個人情報気軽に公開しない。
- ⑦ 知らない人から来たメールは親に知らせる。

右に挙げたものは一例ですが重要なことばかりなので、是非、話し合つてみてください、とお願ひしています。

金沢星稜大学 総合研究所 だより



大学コンソーシアム石川の 学生参加型事業に6件の採択がありました。

「平成23年度地域課題研究ゼミナール支援事業」
「平成23年度地域貢献型学生プロジェクト推進事業」
このふたつは高等教育の活性化及び地域との交流の拡大を図る目的で
大学コンソーシアム石川が選定し助成している事業です。

平成23年度地域課題研究ゼミナール支援事業

全5件



池上 奨

金沢星稜大学 人間科学部教授

【珠洲市】

テーマ：珠洲市狼煙町横山地区での案山子の作成、生き物調査、祭りの復活などを通して地域の共同体活動を活性化させるための取り組み課題。

横山地区に10年に渡り設置されている「人間そっくりなリアルな案山子」を、地域の皆さんと共に作成する活動を行います。地域の人々の温かく優しい思いに触れることにより、新たな共同体活動のきっかけ作りに繋がるのではないかと思われます。



池田 幸應

金沢星稜大学 人間科学部教授

2件採択

【加賀市】

テーマ：地域環境を活かしたゲートウェイ機能促進策の検討—加賀市におけるCAN・BUSと地域資源との密接化—

【穴水町】

テーマ：穴水町の地域環境を活かした総合型地域スポーツクラブ設立へのアプローチ（石川県立看護大学と連携）

加賀市においては、市内を巡回している「CAN・BUS」に着目し、地域住民との相互



交流・協働をベースに研究を進めています。毎年、ゼミ生で「エコフェスタinかが」等にも継続的に参加しています。

穴水町においては、石川県立看護大学と協働して、競技種目中心の総合型地域スポーツクラブではなく、地域資源、特に自然環境を活かしたクラブ設立に向けた検討を行っています。



大藪 多可志

金沢星稜大学 経済学部教授

【珠洲市】

テーマ：「道の駅」を活用した効果的な観光プロモーションやイベント開催についての提案

モータリゼーションの成熟化とともに市内三つの「道の駅」を活用したイベントや歴史・文化資源融合による活性化策を構築します。特に、県内でも一次産業のウェイトが大きい地域であり、工芸食品の開発や食文化・歴史スポットに関し地域住民パワーを集めるシステム開発に注力します。



小坂 修

金沢星稜大学 経済学部教授

【七尾市】

テーマ：能登島における耕作放棄地活用ならびに観光資源開発のための活動

能登島における「耕作放棄地」の問題の研究に取り組み、2千㎡の畑に食用のさつまいもを植えています。今年度は「能登島ブランド」と「星稜大ブランド」の焼酎の製造を目指して、活動しています。自然相手ですので「農業は忍耐」の教訓で頑張っています。



井上 明浩

金沢星稜大学 人間科学部准教授

【加賀市】

テーマ：全国健康勝マラソン日本海大会

今回採択を受けた大会は、健康者も障がい者も共に参加できるマラソン大会として全国でも数少ない大会です。この大会を、加賀市並びに県障がい者スポーツ協会や同指導者協議会、当大学陸上競技部と連携し、選手のサポート及び大会運営にあたります。

稲置学園では、大学コンソーシアム石川の活動以外にも「地域の発展に資する知の創造」を目指し、地域との連携事業に積極的に取り組んでいます。

平成23年度 地域貢献型
学生プロジェクト
推進事業

全1件

金沢星稜大学 新館建築工事に棟式を執り行いました

8月10日(水)、金沢星稜大学敷地内に設置された会場において、学校法人稲置学園金沢星稜大学「キャリアデザイン館」「メディアライブラリー」建築工事に棟式を執り行いました。式典には、稲置美弥子理事長、坂野光俊学長をはじめ、工事関係者など約100名が出席しました。鉦入れ、鉦締め、検鉦の後、祝棟が大型クレーンで高々と吊り上げられ、参列者全員で新校舎の上棟を祝いました。



第10回流星祭10月21日(金)・22日(土)・23日(日)開催!

今年のテーマは「星瞬(せいしゅん)」です。流星祭に来ていただいた方全員に心から楽しんでもらい、イキイキとした青春を感じてもらいたいという願いを込めています。

今年もミス&ミスターコンテストを行います。また、他にも楽しいステージ企画・学内企画やおいしい屋台などが例年以上に充実しているのでぜひ遊びに来てください!

22日(土)は人気お笑い芸人「フォーリンラブ」のライブがステージ上で行われます。無料で見られるのではありません。23日(日)は最近、テレビなどで話題の「ナオト・インティライミ」がライブを行います。

※流星祭についての詳細は後日、流星祭実行委員会のホームページにて掲載予定です。



第33回星短祭、10月22日(土)・23日(日)に開催!

今年の星短祭は、現短大キャンパスで実施する最後の星短祭になります。メモリアルである本年度のテーマは『楽しめなきゃ星短じゃない!』です。プライダルファッションショーやダンスパフォーマンス、県内で活動するアマチュアバンドのライブ、学友会によるクイズなど、楽しい企画がいっぱいです。10月22日(土)には、人気お笑いコンビ「ザブングル」のライブも行われます(入場無料)。学生の屋台やサークルの活動披露、前年度好評だったMKPによるきもだめしなどもあります。学生はもちろん、御近所の方も卒業生の方も、みんなで一緒に星短祭を楽しみ尽くしましょう。



学園創立80周年記念事業「寄附金募集」について

寄附者ご芳名(五十音順・敬称略/2011.6.1~2011.8.31受付分)

同窓会

朝倉 宏太
芦野 翔斗
荒井 進
栗田 静香
石川 舜将
石黒 彩子
井上 朋裕
今村 伸二
金子 晴香
金谷 兵次
叶 英紀
川井 慎吾
川井 由美子
河村 吉記
北島 隆大
北野 一雄
南希夢良
木村 道明
機 健二
小池田 忠
小嶋 一夫
小林 明喜子
小林 大志
魚屋 典子
桜井 京子
塩谷 雄司
島倉 晴信
下池 新悟
高田 幸治
高橋 康平
高橋 直美

高橋 泰史
高島 樹
工 勝里
竹村 啓一
田島 實
忠村 健司
玉谷 外光子
土本 和美
鶴来 和子
永井 啓夫
中川 邦雄
中田 育子
西崎 育子
野村 ルリ子
橋本 外司雄
林 晃子
福原 純子
藤井 宏之
藤田 利宏
別所 利次
樹井 祥司
間戸 外雄
丸山 利晴
道善 勝子
北陸スピードクィーン
サービスセンター南 栄司
宮本 康之
村中 俊哉
元木 武志
森 美奈子
谷内 義将
山岸 貞司

山下 なつみ
山原 裕之
吉田 啓一
渡辺 惇輝

ほか匿名11名

保護者会

青山 政義
荒川 卓郎
五十嵐 政信
池田 太
石川 尚寛
板谷 敏一
板橋 順二
市川 恵美
伊藤 宏
井上 裕
岩崎 久夫
岩下 勝浩
上田 英憲
上田 正浩
上野 孝之
上野 安正
大木 敏正
岡崎 慶子
角井 雅宣
鷺屋 一幸
川淵 俊幸
岸 裕介
木村 慎吾
木村 敏隆

木村 肇
小岩 修一
小坂 直樹
小玉 光伸
小中 弘
小林 智幸
小林 亮二
小松原 擁志
小山 敬二
櫻井 豊
佐々木 茂
座主 哲二
佐藤 修
清水 清人
清水 茂博
下置 宏子
(株)ホンダ販売スギフジ
杉藤 隆志
洲崎 衛
炭谷 一志
星稜女子短期大学稲星会
関川 寛
田中 孝太郎
田辺 永子
田辺 博幸
玉谷 吉範
田谷 吉範
辻口 利広
土田 明奈
土田 外志弘
恒川 秀樹
寺岡 克広
寺地 隆

堂高 一彦
利岡 光一郎
永崎 弘志
長崎 達哉
中島 和久
仲谷 宏明
中西 玲
中村 泰広
中山 俊弘
新保 修裕
西田 豊政
西村 典文
奴間 公薫
野村 一昭
濱田 和良
濱野 泰夫
林 茂広
坂東 琢磨
東田 寛
髭 亮平
廣川 正司
藤田 晃
藤田 利宏
不動田 英彦
堀 和善
前 直樹
前川 守
松川 広美
松村建設(株)
松村 明徳
松村 光一
松村 康裕

松本 裕
水内 誠
宮坂 満
向田 美紀
村田 孝嗣
村中 美喜
村元 明
村本 ひとみ
森 俊久
森田 達也
森田 義和
谷内 義信
敷 五月
山岸 守
山田 勝
吉田 晃
吉田 幸一
吉田 真
米永 充行
渡邊 浩一
綿野 泰宏

ほか匿名40名

一般(個人・法人)

飯田 裕二
中山 浩司

林 幹二
SMBC日興証券(株)
金沢支店

ほか匿名5名

旧職員

山崎 和恕
高橋 武史

ほか匿名1名

学園役員・職員

大藪 多可志
川島 哲
岸本 秀一
坂野 光俊
西村 千恵子
原 耕平
干場 久男
本谷 由美
森 浩
山下 智茂
四柳 茂男
渡辺 千恵

ほか匿名4名

寄附者総数 1,134名
寄附金総数 31,664,100円

サエラ22号に関するアンケートへのご協力をお願い

毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、

本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方、先着100名様に図書カード(500円分)をプレゼントいたします。

右記ウェブサイトから、アンケートへの回答をお願いいたします。

<http://www.seiryō.jp/>

先着100名様に
図書カードをプレゼント!

行事スケジュール（10月～12月）

金沢星稜大学

10	1日(土)	石川地区保護者懇談会
	2日(日)	推薦入試対策講座
	5日(水)	創立記念日、休講日
	6日(木)	外国人留学生対象入試説明会
	11日(火)・12日(水)	後期履修登録確認・修正期間、テキスト販売期間
	21日(金)～23日(日)	流星祭
	24日(月)	休講日、日経テスト
	25日(火)	金曜代替講義日
11	25日(火)・26日(水)	後期履修登録削除期間(削除のみ)
	27日(木)	履修登録名簿配布
	12日(土)・13日(日)	推薦入試
	20日(日)	大学院入試
12	23日(水・祝)	一般入試対策講座
	4日(日)	ビジネス能力検定試験
	20日(火)	経済学部卒業研究発表会 人間科学部2、3年次フィールド成果報告会

星稜女子短期大学

10	5日(水)	学園創立記念日、休講日
	15日(土)	オープンキャンパス
	21日(金)～23日(日)	星短祭
	24日(月)	休講日
	25日(火)	金曜代替講義日
11	3日(木・祝)	オープンキャンパス
	12日(土)	スカラシップ推薦入学試験 自己推薦入学試験A日程
	13日(日)	一般推薦入学試験、秘書検定試験
12	17日(土)	自己推薦入学試験B日程
	20日(火)	補講日

星稜高等学校

10	5日(水)	創立記念日
	11日(火)～14日(金)	中間試験
	17日(月)	総合学習(進路研究)(1、2年、3年Pコース)
	20日(木)	運動会
	21日(金)	運動会予備日
11	1日(火)～4日(金)	教育ウィーク(授業公開)
	29日(火)～12月3日(土)	期末試験(1年)
12	5日(月)	追試(1年)
	5日(月)～9日(金)	期末試験(2、3年)
	6日(火)～9日(金)	修学旅行(1年)
	12日(月)	追試(2、3年)
	16日(金)・17日(土)	体育大会(1、2年)
	17日(土)	保護者懇談会(3年)
	19日(月)・20日(火)	保護者懇談会
	19日(月)	再試
	21日(水)	全国大会激励会、終業式
	22日(木)・24日(土)	補充・補習授業
	26日(月)～28日(水)	

あとがき

例年の熱中症対策に加え、節電対策にも関心が高まった今年は、蔓性の植物を窓辺に這わせて作った涼しげなグリーンカーテンをあちらこちらで目にしました。扇風機、うちわがよく売れ、カバンのポケットに扇子を携帯する若者が増えたと聞きました。豊かさの価値観が変わってきたのかもしれない。便利で快適な生活を考え直す良い機会となりました。灼熱のコンクリートの上でも青々と茂る雑草たちに「がんばってるね!」と心の中で声をかけ、星稜も地球のリズムに合わせて邁進していけたらと願うそんな夏でした。「星稜サ・エ・ラ」がみなさんのお手元に届く頃には、秋の風が吹いているかもしれませんね。

金沢星稜大学附属星稜幼稚園 山口 加苗



学校法人 稲置学園

金沢星稜大学

石川県金沢市御所町丑10-1
TEL076-253-3924(代表)
<http://www.seiryo-u.ac.jp>

星稜女子短期大学

石川県金沢市御所町丑1
TEL076-253-5900(代表)
<http://www.seiryo-u.ac.jp>

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL076-252-2237(代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL076-252-2237(代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27
TEL076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryo.jp/seiryo/>

金沢星稜大学附属星稜泉幼稚園

石川県金沢市泉野町6-17-30
TEL076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryo.jp/izumino/>

星稜中学校

10	5日(水)	創立記念日
	12日(水)・13日(木)	中間試験
	18日(火)	3年補充開始(～1/20まで)
	21日(金)	運動会
	24日(月)	運動会予備日
11	1日(火)～4日(金)	教育ウィーク(授業公開)
	18日(金)	総合学習発表会リハーサル
	19日(土)	総合学習発表会
	23日(水・祝)	学校見学会
12	3日(土)	2年職場体験(夢語り)
	6日(火)～8日(木)	期末試験
	9日(金)	体育大会
	16日(金)	講演会
	17日(土)	かるた大会
	19日(月)・20日(火)	保護者懇談会
	21日(水)	終業式
	21日(水)～24日(土)	1、2年補習、3年補充授業

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

10	1日(土)	願書受付
	4日(火)	遠足(年中組)
	5日(水)	創立記念日
	6日(木)	キッズサッカー
	7日(金)	遠足(年少組)
	11日(火)	遠足(年長組)
	12日(水)・13日(木)	キッズサッカー
	17日(月)	キッズサッカー
	18日(火)	夢ステーション
	20日(木)	キッズサッカー
11	25日(火)	誕生会
	26日(水)・27日(木)	キッズサッカー
	29日(土)	キッズワールド
	4日(金)	とんと劇場
12	8日(火)	夢ステーション
	11日(金)	避難訓練
	29日(火)	誕生会
	1日(木)・2日(金)	表現あそびの会
10	8日(木)	もちつき会
	13日(火)	夢ステーション
	20日(火)	クリスマス会、誕生会
	22日(木)	終業式

金沢星稜大学附属星稜泉幼稚園

10	1日(土)	願書受付
	3日(月)	遠足(年少組)
	5日(水)	創立記念日
	6日(木)	遠足(年中組)
	7日(金)	にこにこ参観(ばら組、つき組)、キッズサッカー
	11日(火)	にこにこ参観(りす組、ほし組)、キッズサッカー
	13日(木)	遠足(年長組)
	14日(金)	未就園児オープンハウス
	21日(金)	にこにこ参観(うさぎ組、すみれ組)
	27日(木)	誕生会参観
11	29日(土)	親子でリトミック(年長組)
	1日(火)	誕生会参観
	2日(水)	未就園児オープンハウス
	5日(土)	親子でリトミック(年中組)
12	8日(火)	避難訓練
	1日(木)	表現遊びの会(りす組、ばら組、つき組)
	2日(金)	表現遊びの会(うさぎ組、すみれ組、ほし組)
	15日(木)	誕生会参観
	16日(金)	もちつき会
	17日(土)	同窓会
	19日(月)	にこにこ参観(年長組)
	20日(火)	ハローサンタの会
	22日(木)	終業式

80th

未来を輝らす、星稜の人間教育。
～これまでも、これからも、誠実に地域とともに～



学校法人

稲置学園

稲置学園は、創立80周年の節目に 「100周年への最初の一步」を踏み出します。

2012年10月5日、学校法人稲置学園は創立80周年を迎えます。

80年の長きにわたり受け継がれてきた建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を
今こそ再確認し、この節目の時を過去を振り返るだけで終わらせることなく
“未来へのスタート地点”とすることを目指し、学園80年目の決意を込めた
「80周年スローガン・ロゴマーク」を策定いたしました。

「星稜の人間教育」を未来へしっかりとつなげていくために、
稲置学園は100周年への最初の一步を踏み出します。



学校法人稲置学園 理事長
稲置 美弥子

《稲置学園のあゆみと建学の精神》

《建学の精神》

誠実にして社会に役立つ人間の育成

「小学校を卒業して働く者に必要な教育がなされていない」。金沢の恵まれない教育環境を耳にした京都の青年教師・稲置繁男が、1932年金沢市彦三に北陸明正珠算簿記専修学校を創設した時から稲置学園のあゆみは始まります。創設時の第一回生はわずか8名（昼間部6名・夜間部2名）。それでも社会で働く者のために珠算簿記を教え、その卒業生の活躍から着実に評価を高めて学園の礎を築いていきました。「学校は人をつくる場所である」という信念を生涯貫いた稲置繁男初代理事長。その建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」は、現在の稲置学園にも脈々と受け継がれています。



《80周年スローガン》

80th ^て未来を輝らす、

スローガン
について

これからも社会の未来を、学生・生徒・園児ひとりひとりの未来を明るく輝かせていく。
星稜の人間教育への変わらない想いと未来への誓いを、このスローガンに込めています。

《めざす学園の姿》

～星稜100年ビジョン骨子～

学生・生徒・園児のために

- 自ら学び行動することができる人間を育みます。
- さわやかなコミュニケーションができる人間を育みます。
- ルールを守り、自分の周囲(人間・環境を含め)を思いやる心のある人間を育みます。

地域・社会とともに

- 地域を愛し、社会に貢献できる人間を育てる学園をつくります。
- 地域の活性化・産業の振興に貢献できる学園をつくります。
- 地域の方々とともに学び、連携できる学園をつくります。

実現するために

- 学生・生徒・園児の気持ちを理解し、尊重することができる教職員をめざします。
- 学生・生徒・園児とともに学び、成長を喜び合うことができる教職員をめざします。
- 時代の変化に対応し、常に最善の教育が実践できる教職員をめざします。

星稜の人間教育。 ～これまでも、これからも、
誠実に地域とともに～

ロゴマーク
について

80から先へ伸びていく星は、学生・生徒・園児たちの未来への成長と、
稲置学園のさらなる発展への決意が込められています。

「未来への糧」となる、5つの80周年記念事業。

1. 80周年記念史を編纂します。

学園80周年の軌跡をたどり、稲置繁男初代理事長の60年、稲置美弥子現理事長の20年の歩みを振り返るとともに、未来に向けてこれからの学園のあるべき姿も伝える80周年記念史を編纂します。

2. 80周年寄附金事業を実施します。

学園初の「寄附金募集」を行います。集められた寄附金は、教育環境の充実、主に経済的理由で就学が困難になった者への奨学金や世界・全国レベルの部活動への支援金として活用されます。

3. 80周年記念行事を開催します。

創立記念日の2012年10月5日、稲置記念館において学園関係者および来賓をお招きして記念式典を開催し、学外の会場にて記念祝賀会の開催も予定しています。また記念館見学会の実施も計画しています。

4. 80周年記念館を建設しています。

金沢星稜大学キャンパス内に「キャリアデザイン館」「メディアライブラリー」の建設を進めています。これらの施設建設によって、教育環境のさらなる充実、地域社会との連携強化を目指していきます。

5. 80周年記念イベントを企画・開催します。

「星稜音楽祭(オペラ)」・「SEIRYO SPORTS DAY」・「星稜教育シンポジウム」の3つの記念イベントを実施します。幼稚園から大学までが一堂に会する大イベントで80周年を彩ると同時に、学園教職員の連帯を促進します。



稲置学園の80周年記念事業ならびに100周年に向けた20年間へのご支援ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

Since 1932

星 稜

www.seiryo.jp

学校法人 稲置学園

- ・金沢星稜大学大学院
- ・金沢星稜大学
- ・星稜女子短期大学
(平成24年4月1日 金沢星稜大学女子短期大学部に名称変更予定)
- ・星稜高等学校
- ・星稜中学校
- ・金沢星稜大学附属 星稜幼稚園
- ・金沢星稜大学附属 星稜泉野幼稚園